



五十沢小学校だより

いのちかがやく



No.5

令和8年8月31日



【子どもの笑顔】を支える【保護者、地域の笑顔】と【教職員の笑顔】

五十沢小コミュニティ・スクール「地域とともに」が実現しました ～ 夏休み わくわく教室、学習教室、子どもの遊び場～

夏休みが終わり、学校に子どもたちの生き生きとした姿が戻ってきました。今年度は、五十沢小学校コミュニティ・スクールとして、五十沢会館や五十沢地区育成会、五十沢地域食堂等、地域のみなさんと子どもたちの夏休みが充実するよう、新しい取組を行いました。素敵な取組や子どもの姿をお伝えします。

わくわく教室 pp テープしゅげい



わくわく教室 イラストおえかき



pp テープ手芸は、金魚をつくり、つなげてモビールにしました。参加した大人の方も夢中になり、その後、かごやバックに挑戦するとのことでした。校長も宿題として、夏休みの作品として作ってみました。イラストおえかきでは、西潟錦一さん（五十沢友郎さん）から「五十沢小学校の校章デザイン」に込められた10個ほどの願いや意味を教えてくださいました。これは語り継がなくてはと思いました。自然教室は、残念ながら雨降りでしたが、職場体験学習で来ていた中学生も一緒に、トレジャーハンターとして、散策しながら謎解きをしました。緑と空気がきれいな中、職業体験の中学生と楽しみました。ミニ四駆は3日間開催しました。スイッチの部分がなかなかうまくできなかったけれど、何度もやり直してやっと動いたと飛び上がって喜んだり、走るミニ四駆をキラキラした目で追いかけてたりする子どもの姿がありました。

わくわく教室 自然体験



わくわく教室 ミニ四駆



わくわく教室 ハンドメイド



ハンドメイドは、初めて挑戦するかぎ針編みに苦労しながらも、両手の指の動きを少しずつ覚え、なんとか編み目をつくれるようになり、ふうっとため息をつく子どもたちの顔が「いいなあ」と思いました。

それぞれの講師の皆様が、子どもたちのことを考え、工夫し、準備してくださったことに心より感謝申し上げます。

五十沢地区育成会・五十沢地域食堂 夏休み子どもの遊び場

8月9日(日)には、育成会のイベント「夏休み子どもの遊び場」が五十沢キャンプ場で行われました。普段できないようなこと、家庭では挑戦しにくいようなことを友達や五十沢の人と、自然の中で思いっきり体験することができました。薪割り、火起こし、飯盒炊飯、スイカ割り、川遊び、川へのビックダイブ、かまどで作るカレーライス等々、五十沢の自然や地域の人の温かさを十分満喫できたことと思います。(写真や動画が「五十沢 Facebook」にアップされています。始業式にも紹介しました。ぜひご覧ください。)



写真が小さく見えにくくなっています。学校ホームページにも掲載しております。ぜひご覧ください。

五十沢会館 学習教室

涼しい部屋で友達と勉強ができる環境を整えていただきました。利用は延べ75名。中学生や五十沢以外の児童生徒も利用があったそうです。始めと終わりに事務所にきちんとあいさつをし、マナーを守って利用できていたとのことでした。さすが、五十沢っ子です。様子を見に行くと、早い時期から夏休みの課題ワークに取り組み、教え合ったり進み具合を共有したりして、楽しく学習を進めていました。

子どもたちの豊かな体験や生活を願っていた保護者や教職員にとって、地域の方々、各団体の皆様、子どもたちのために行動してくださったことに心より感謝申し上げます。学校や保護者、PTAだけが子どもの教育をしているのではなく、地域全体で子どもを育て、それによって地域の横のつながりも強くなる、そんな素敵な関係を五十沢小コミュニティ・スクールではつくっていきます。

2学期もまた、学校と保護者、地域が一体となって子どもを育て、さらに互いもつながり合える関係づくり、充実した教育ができるようがんばります。